



三者面談用(1年生向け)

進路だより

1号 杉戸高校進路指導部 令和2年6月22日発行

今日から三者面談が始まります。1年生は文理選択を決定する大切な時期です。文系・理系科目の得意不得意で選ぶのではなく、10年後やその先を考えて文理を選択してください。この進路だよりでは今から知っておいてほしい入試の情報をまとめました。参考にしてください。

【新入試について】

現在、日本社会では、少子高齢化やグローバル化、インターネットや人工知能(AI)の技術革新といった大きな変化が起きています。変化が大きく、予測がつかない社会では、「自ら課題を見出し周囲と協働して解決する力」が求められるようになります。これから求められる資質・能力(学力の3要素^{※1})は、ペーパーテストで図ることができる力と、測りきれない力があります。そのため、多面的・総合的に評価する大学入試へと変わります。以下は、その特徴を簡単にまとめてみました。

1 大学入学共通テスト、大学の個別試験

(1) 大学入学共通テスト

「大学入学共通テスト(以下、共通テスト)」は「センター試験」に代わって導入される試験です。

● 「思考力・判断力」を問う問題の出題

センター試験では「知識・技能」の2点が必要とされる問題が出題されてきましたが、共通テストではこれに加えて「思考力・判断力」を測る問題が出題されます。

(例)

- ・全教科で「当てはまるものをすべて答えなさい」という解答形式を導入
- ・英語の設問が英文になる
- ・英語で「発音・アクセント・並び替え」の問題がなくなる
- ・国語で「実用的な文章」が題材になる
- ・国語で複数の文書を関連付ける問題が出題される
- ・数学で会話文や長文が出題される

など

(2) 大学の個別試験

総合型選抜(旧AO)と学校推薦型選抜(旧指定校、公募制推薦)では、学力的要素^{※2}が問われるようになります。また、一般選抜(旧一般入試)でも調査書・志願者本人の記載する資料を用いて、「主体性・多様性・協働性」を評価するなど変更になります。詳しくは進路ガイドブックをご覧ください。

【今からやっておくべきこと】

新入試では、複数の情報を組み合わせて考えをまとめたり、説明する力が求められます。そのため、日頃の授業から「なぜ(どうして)そうなるのか?」という考える(理解する)過程を重視した学習を行いましょう。さらに、新聞や本を読み、読解力を身に付けましょう。

2 資格・検定試験を利用した入試

グローバル化の進展によって、多様な文化や言語をもった人たちと一緒に働く未来がすぐそこに迫ってきているため、大学・社会で「使える英語力」が求められています。英語を「使う」力を4技能で評価するのはセンター試験では難しいため、民間の資格・検定試験を活用する動きになりました。

当初予定されていた「大学入試英語成績提供システム」の導入は延期になりましたが、以前から私立大学入試では「英語検定〇級以上を出願条件とする」「スコアが△以上の場合は英語のテストは80点とみなす」など、外部の英語検定を入試に活用しています。また、いくつかの国立大学でも英語外部検定を利用する大学があります。一定以上のスコアを取得していないと、指定校推薦の条件を満たせない場合もありますし、級の合格よりスコアの数値が重要になります。

【今からやっておくべきこと】

本校では、3年生で受験する外部英語検定試験を見越して、1・2年生の2学期にGTEC for STUDENTSを実施しています。また、希望者は校内で英語検定も受験することができます。昨年度から現2年生の英語でスピーキングを取り入れた授業を行っています。英語の外部検定である程度のスコアをとれるということは、今までどれくらい英語の実力がついたかの目安にもなります。1年生のうちから積極的に受験しましょう。また、希望する大学が外部英語検定試験を導入しているのか、どう活用しているのかを調べてみましょう。

3 「主体性」が入試で問われる

【主体性を磨く活動の例】

ジャンル	内容
課外活動	探究活動、スピーチコンテスト、留学・海外交流イベントなど
委員会活動	生徒会、委員会、イベントの実行委員
スポーツ活動	部活動、クラブチームでの活動、マラソン大会などのイベント
文化・芸術活動	部活動、コンテスト、コンクール、芸術鑑賞
その他の活動	ボランティア、インターンシップ、資格・検定試験

新入試では、「学ぶ姿勢・態度」「主体性」なども評価の対象になります。そのため、これまで推薦入試で多く活用されてきた調査書や志望理由書が一般選抜でも活用されていく動きがみられます。調査書や志望理由書に書くのは高校での活動履歴です。例えば部活動、ボランティア活動等に対して、何を考え、どのように努力したのか、「過程」を含めて記入しましょう。大学は、その過程も見て、受験生の主体性や学ぶ姿勢・意欲を判断するそうです。

【今からやっておくべきこと】

新入試では学校での取り組みがより重要になります。まずは、授業・部活動・課外活動等に積極的に取り組みましょう。そして、活動履歴を記録してください。活動履歴を残しておく、いつでも振り返りができ、やる気を高められます。「杉高手帳」等を利用してください。また、「今回はこうだったから次はこうしよう」とスムーズに活動を進めるきっかけにもなります。ですから、入試のためだけでなく、自分の成長のためにも記録を残しておきましょう。

※1 「学力の3要素」: 知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性
文部科学省「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について(通知)」より

※2 小論文やプレゼンテーション、教科・科目のテスト、口頭試問等又は共通テストの利用を必須化。詳しくは各大学の学校案内や募集要項をご覧ください。